

新たな産業廃棄物最終処分場整備の受入れに関する決議に
ついて

上記について、別紙のとおり決議するものとする。

令和3年6月25日提出

日立市議会

新産業廃棄物最終処分場

整備調査特別委員会

委員長 佐藤 三夫

(提案説明)

茨城県による日立市諏訪町地内での新たな産業廃棄物最終処分場整備について、安全な施設整備や地域振興策などの確実な実施を前提に市が受け入れることを容認するため決議するものであります。

新たな産業廃棄物最終処分場整備の受入れに関する決議

茨城県が新たな産業廃棄物最終処分場を日立市諏訪町地内に整備する計画については、県が開催した住民説明会、施設見学会及びフォローアップ説明会等を通じ、一定の理解を得られたものと受け止められる。

また、新産業廃棄物最終処分場整備調査特別委員会における調査、検討及び審議を通して、地域住民の不安解消のため、意見や要望として投げ掛けた施設の安全性や交通安全の確保、周辺地域の生活環境保全や地域振興等に関する課題については、県から示された対応策において、おおむね反映されている。

さらに、環境都市宣言をしている本市にふさわしい施設整備についても、企業や大学と行政との連携及び協働並びに地域資源の活用を視野に、今後、県が市と共に実現に向けて検討していくことが確認できた。

加えて、県からは、引き続き、市民、議会、そして市へ丁寧に説明し、意見をいただきながら、地域振興策等を確実に実行し、安全性を最優先に、周辺の環境に悪影響を与えることのないよう、地域と共生できる施設にしていきたいとの強い決意が示された。

こうした状況を踏まえて、日立市議会は、茨城県による日立市諏訪町地内での新たな産業廃棄物最終処分場整備について、県が市との間で継続的に綿密な協議を行い、安全な施設整備を最優先事項として、万全な対策を講じることにより、市民生活の安全安心の確保、本市の豊かな自然環境の保全、並びに周辺地域及び本市の活性化につながる地域振興策の実施など、同委員会が県に対し提示してきた意見・要望を確実に実施

することを前提に日立市が受け入れることを容認する。

以上、決議する。

令和 3 年 6 月 日

日 立 市 議 会